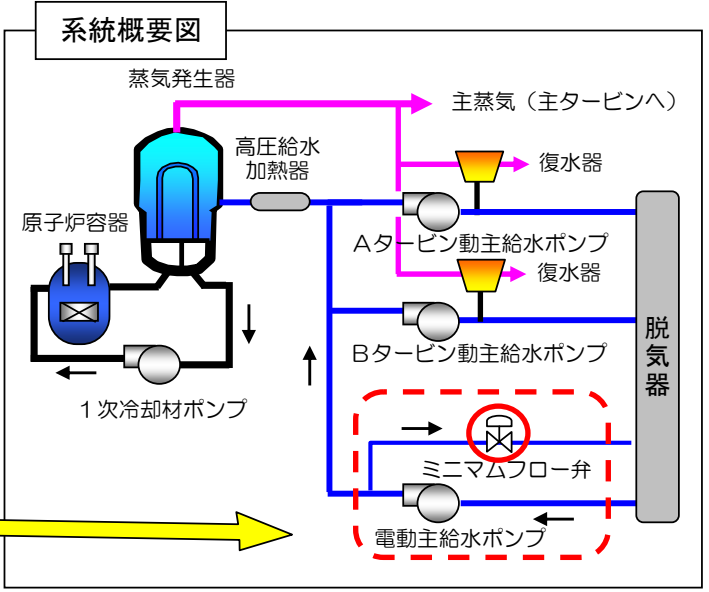
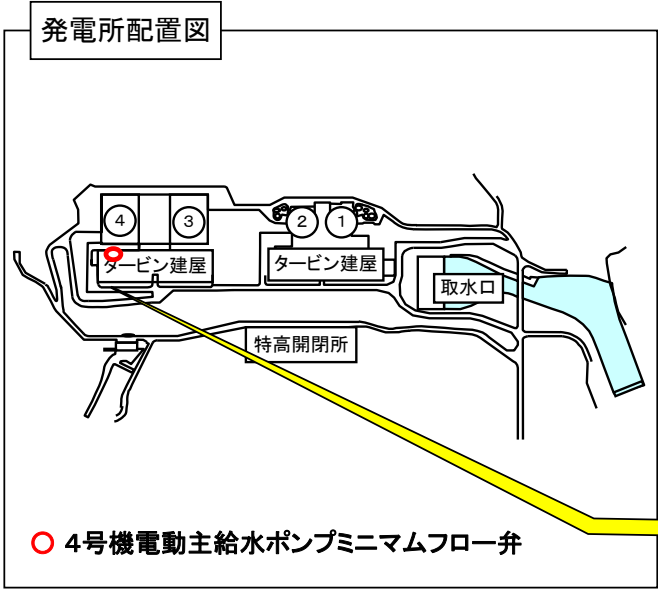
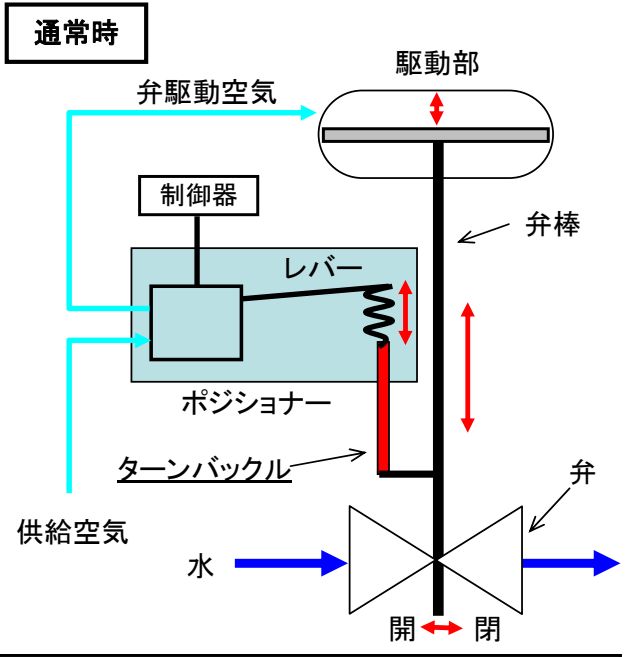


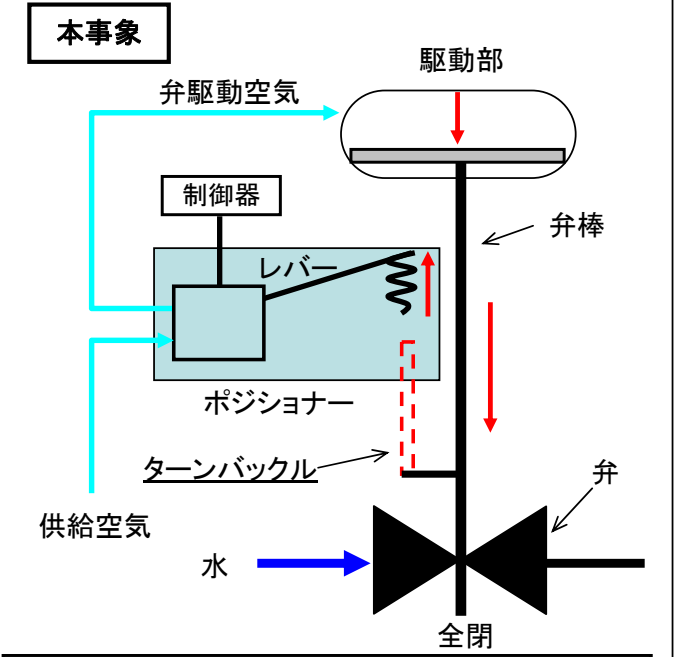
大飯発電所4号機の電動主給水ポンプの定例試験時の異常について



ポンプミニマムフロー弁 制御部概念図



○弁の開閉状態を伝達するターンバックルからの信号および制御器からの弁の開閉信号により、それに応じた空気が駆動部に供給され、弁棒が上下することで弁が開閉される仕組み。



○本事象では、ターンバックルの外れにより、弁の開閉状態が正しく伝達されず、弁を閉止する空気が駆動部に供給されて全閉状態になりました。

本事象の原因と対策

- ターンバックルが外れた原因については、電動主給水ポンプの起動試験の際、固定していた部品の一部にガタつきがあった可能性があり、これがミニマムフローラインの振動などにより、ゆるみ、外れたものと推定。
- 外れた部品の取り付け作業を開始し、弁の開閉状態を確認することで当該弁の健全性を確認。また、電動主給水ポンプの起動試験を行い、問題がないことを確認し、自動待機状態に復旧。
- さらに他の弁への対策として、大飯3、4号機の同種弁56台(各号機28台)について、ガタつきやゆるみの有無を確認し、いずれも異常がないことを確認。